

＜2020年度関西学生ハンドボール春季リーグ戦実施要項＞

- 1 大会名 2020年度関西学生ハンドボール春季リーグ戦
- 2 主催 関西学生ハンドボール連盟
- 3 開催期日 **4月11日(土)～5月23日(土)**
開会式 **4月4日(土)**
閉会式 **5月17日(日)**
入替戦 **5月23日(土)**
- 4 開催会場 関西地区の公立体育館及び大学体育館
- 5 参加料 別紙参照
- 6 参加申し込み ① 参加資格者(選手・役員・チーム)は2020年度(公財)日本ハンドボール協会登録、チーム所在地所属の府県協会登録、ならびに全日本学生ハンドボール連盟登録者に限る。ただし、チームについては、合併チームでのオープン参加を認める。
② 別紙参加申し込み用紙を(kansai_kyoubi@yahoo.co.jp)に送信する。(大学控えをとっておくこと)
③ ユニフォームの番号は参加申し込み番号と必ず一致させること。
◇追加参加申し込みについて
・申し込み方法…追加参加の所定事項をメールに記入の上、関西学連(kansai_handball@yahoo.co.jp)のメールアドレスに送信すること。
また関西学連の指示する期日までに料金を支払うこと。
また(公財)日本ハンドボール協会登録、府県登録、および料金の支払いも関西学連の指示する期日までに行うこと。
- 7 競技規則 現行の(公財)日本ハンドボール協会 競技規則による。(関西学生ハンドボール連盟申し合わせ事項を含む。)
- 8 競技方法 ① 各部リーグ戦(総当たり1回戦)によって行う。
各部リーグ戦終了後、上部リーグの最下位チームは下部リーグの優勝チームと自動的に入れ替えとなる。
ただし、男女1部リーグと2部リーグの入れ替え戦については上記記載の「自動的な入れ替え」とせず、入れ替え戦を行う。
また、男女すべての部において、上部リーグの下から2番目のチームは下部リーグの2位のチームと入れ替え戦を行う。
② 男女とも最下部のリーグ戦の競技方法は、参加チーム数によって以下のように行う。
・10チームの場合、前回のリーグ戦の結果より以下のようにA、Bと分けてリーグ戦を行い、その後それぞれの同順位同士で順位決定戦を行う。
A:前リーグ 1.4.5.8.9位 B:前リーグ 2.3.6.7.10位
・11.12チームの場合、前回のリーグ戦の結果より順位によって分けA(6チーム)を上位リーグ、B(6または5チーム)を下位リーグとする。
A、Bのそれぞれでリーグ戦を行ったあと、A(上位リーグ)の下位2チーム、B(下位リーグ)の上位2チームでの順位決定戦を行う。
・チーム数が13チーム以上になった場合、二つのリーグ(上部7チーム)に分割してリーグ戦を行う。
ただし、分割したいいずれかの部のリーグ戦が次季リーグ戦開始前に4チーム以下になった場合、前季で分割した部を再度統合してリーグ戦を行う。
③ 競技時間 男子1・2・3・4部、女子1部…前半30分－休憩10分－後半30分
男子5・6部、女子2・3部…前半25分－休憩10分－後半25分
(入れ替え戦は上部リーグの競技時間に準ずる。)
④ リーグ戦は延長戦を行わない。(引き分けがある。)
但し、入れ替え戦は第1延長、第2延長、7mスローコンテスト(5人ずつ)を行う。
男子6部、女子2部の順位決定戦に関しては、延長戦は行わず7mスローコンテスト(3人ずつ)を行う。
⑤ 順位決定方法…次の勝ち点システムをとる。
A. 勝ち点の多いチームが上位となる。
勝ち＝2点 引き分け＝1点 負け＝0点
B. 勝ち点が同点のチームがある場合は次の方法で順位を決定する。
Ⅰ.棄権(没収試合による負けも含む)数が少ないチームが上位
Ⅱ-1.当該チームの対戦者間の勝ち点が多いチームが上位
Ⅱ-2. Ⅱ-1が同点の場合は、当該チーム間の得失点差数の多いチームが上位
Ⅱ-3. Ⅱ-2が同点の場合は、当該チーム間の総得点数の多いチームが上位
Ⅲ. 全試合の得失点差数の多いチームが上位
(棄権チームがある部の場合、棄権チームと対戦時の得失点差は全チーム計算しない)
Ⅳ. 全試合の総得点の多いチームが上位
※リーグ戦終了時、同順位の場合は、入れ替え戦出場、西日本インカレ及び全日本インカレの出場に関わる場合は抽選を行う。
⑥ 試合のエントリーは選手16名、役員5名
⑦ 試合球は男子1～3部、女子1部はモルテン、男子4～6部、女子2、3部はミカサ。
入れ替え戦における試合球は上部リーグ使用球に合わせることを。

- 9 試合球
- ・ 株式会社モルテン社製ボール(男子:アセンテック ヌエバX H3X5001-BW 女子:アセンテック ヌエバX H2X5001-BW)
 - ・ 株式会社ミカサ社製ボール(男子:HB3000 女子:HB2000)
- 10 競技運営
- ① メンバー表の提出及びユニフォームの確認、トスは第1試合の場合は競技開始30分前に記録席の前において両チームの代表者により行われる。第2試合以降は前の試合の前半終了直後に行う。(ただし関西学連から別途指示がある場合はこの限りではない。)
 - ② ベンチ入りする選手及び役員は、(公財)日本ハンドボール協会の登録証を必ずトスの時に提出すること。
 - ③ 各大学は割り当てられた役割(審判・記録・得点・モップ係・会場準備及び撤収など)を責任を持って行うこと。
 - ④ 学生審判は審判講習会を受講した者(登録審判員)及び(公財)日本ハンドボール協会の公認審判員(D級以上)に限る。
- 11 注意事項
- ① 各チームにおいてCP・GKそれぞれ2色ずつ(同系色は認めない)のユニフォームを用意し、トスの際には必ず全種類持参すること。
 - ② 試合球は学連を通じて各チームが購入し、試合会場に持ってくること。(開会式時に配付する)
 - ③ 松ヤニ・粘着スプレー(両面テープは除く)の使用は一切禁止する。使用した選手は失格とする。
 - ④ 各チームは割り当てられたオフィシャル・審判等を行う際は定められた時間に遅れないようにすること。
 - ⑤ 各体育館フロアについては2足制を厳守すること。
 - ⑥ 試合会場の電源プラグの使用は一切禁止する。
 - ⑦ 交代地域におけるビデオ及び写真撮影は禁止とする。交代地域以外での撮影に関しては可能だが必ず学連の許可を得ること。
 - ⑧ 試合中の事故については学連は初動処置のみを行い、その他一切の責任を負わない。
 - ⑨ 試合を棄権する場合には、3日前までに学連委員と相手チーム、その試合の審判及びオフィシャルを割り当てられているチームに必ず連絡すること。連絡がない場合は、原則として審判と会場にきている相手チームの全プレーヤーおよび役員の交通費を支払うこととする。
 - ⑩ その他アンフェアな行為や無責任な行為、コンプライアンス違反などは選手単位、またチーム単位で処罰されることがある。
 - ⑪ リーグ戦の参加料の振込、web登録など学連が指定した期限を厳守すること。
 - ⑫ 選手の試合会場における喫煙は全面禁止とする。
 - ⑬ チーム役員の服装は相手チームのコートプレーヤーとははっきりと判別できる色であること。
 - ⑭ チームのキャプテンはキャプテンマークをつけることができる。
 - ⑮ その他、関西学連運営委員からの指示には従うこと。
- 12 表彰規定
- ① チーム表彰 男女1部リーグは1～4位(閉会式は必ず参加すること)、下部は1～3位
 - ② 個人表彰 ベストセブン(男女1部のみ) = 最優秀選手1名・優秀選手6名(男女1部のみ)
得点王(各部)、新人賞(男女1部のみ)
- 13 罰則規定
- ① 1枚目の始末書となった場合、当該チームの主将を呼び出し、学連委員長により厳重に注意する。
注意された内容を、チーム責任者を含めチーム全員で情報共有し、チームとして反省し再発防止に努め、始末書を速やかに提出すること。
 - ② 同一年度内に2枚目の始末書となった場合、主将ならびにチーム責任者を呼び出し、理事長より指導を行う。
 - ③ 連続した2期間に2枚目、もしくは今リーグ中に2枚の始末書提出となった場合、主将ならびにチーム責任者を呼び出し、理事長より指導を行う。
当該チームは、速やかに始末書を提出し、以後1年間、原則として当該チームの試合がある日、関西学連の指示に従い、準備、オフィシャル、審判割り当て、撤収および運営全般の活動を行う義務を負う。当該チームの主将および主務は例外を除き、必ず同席しなければならず、また一切の責任を負う。場合によっては、関西学連から追加の処分を下すこともある。
 - ④ 連続した2期間内に3枚目の始末書となった場合、裁定委員会にその判断を委ねるものとする。
 - ⑤ その他、重大な問題行動(例:試合会場での暴力行為等)も裁定委員会にその判断を委ねるものとする。

関西学生ハンドボール連盟 リーグ戦会場インフォメーションデスクについて（提案）

I. 提案の背景

現在、サッカーやバレーボール、バスケットボールをはじめとする大学スポーツの試合会場では、来場者に向けて様々なサービスを提供するためのデスクが設置されている。

（例：会場案内、大会（試合）プログラム販売、グッズ販売 etc…）

→現在の学生ハンドボール界をみると、全日本インカレや西日本インカレではデスクが設置されているが、各地区学生リーグではみられない（集中開催地区では設置されているケースもある）

そもそも・・・

関西学生ハンドボール連盟におけるリーグ戦の集客（観戦者増加）戦略として・・・

①新規観戦者を増やす

→ 様々な広報戦略が鍵となる

②観戦者の満足度の向上

→ 「ハンドボールを、学生リーグを観に来てよかった」と感じてもらえる空間の提供

→ “競技力向上＝ハイレベルな試合を展開” と “観戦者目線の大会運営” が不可欠

③リピーターの獲得

→ 平均観戦者数の増加 は、“競技力の向上” にも好影響をもたらす

→ さらに、協賛企業による長期的固定収入の増加にも好影響をもたらす可能性がある。

学生リーグ会場におけるインフォメーションデスクの設置は、上記の ② 観戦者の満足度の向上 を目的とした施策の一つである。

II. 試験的实施における成果と課題（2019 年度秋季リーグ戦）

2019 年度秋季リーグ戦（関西福祉科学大会場）において、試験的にインフォメーションデスクを実施（2 回）（実施方法等の詳細は、別紙（インフォメーションデスク担当者マニュアル）を参照）。

試験的实施における成果と課題について、学連常任委員の意見も含めて以下に示す。

【成果】

- ・プログラムの販売数が増加した ※具体数は要確認
- ・撮影許可証配布場所に関する問い合わせがなくなった

※ただし、いまだに許可申請せず撮影する人もいる

→ これらの成果は、実際に観戦者に調査して確認したわけではなく、運営側で把握できた成果のみ

【課題】

- ・プログラム販売における金銭面の管理

→常任委員「学連控室とインフォメーションデスクに距離があり、少しやりづらい時間帯があった」

→常任委員「各大学の学生に仕事を与えることで常任の負担はそこまで大きくなかったものの、逆に常任が担当する方が金銭面の管理は楽になるのでは」

- ・担当学生の振る舞いに関して
 - 常任委員「プログラムを押し売りしている感じがする」
 - 常任委員「携帯電話を触っているなど、だらしない姿もみられた」
- ・今後、大学体育館以外の会場（公共施設等）での、プログラム販売、およびグッズ販売を行う際、許可申請が必要となる可能性有り。

成果に関して、効果を明確に示すことはできないものの、観戦者にとっては良い取り組みだったといえる（松木所感）。2020 年度では、上記の課題を踏まえた上で、試験的実施のマニュアル（実施方法）に修正を検討し、運営する必要がある。

III. 2020 年度春季リーグ戦での本格実施（案）

1. 実施日程および会場

- 4/12(日) 立命館大、福科大
- 4/19(日) 立命館大、福科大
- 4/26(日) 福科大
- 5/2(日) 田辺
- 5/5(祝) 太陽が丘
- 5/6(祝) 太陽が丘

5/9(土) 大阪経済大
5/10(日) 武庫川大、福科大
5/16(土) 大阪経済大 or 福科大
5/17(日) 大阪経済大

2. 実施内容および実施方法

- ・別紙（2019 年度秋季リーグ インフォメーションデスク担当者マニュアル）に一部修正点を加え、そのまま運用。

3. 検討事項

- ・担当大学の割り振り （最重要検討事項）
 - 開会式にて連絡することが望ましいため、それまでに完了しておく必要がある
 - 実現可能性について、理事や常任委員で早急に検討する必要あり
 - 担当者については、昨年秋季リーグのように各大学へ割り振る（常任の負担軽減）※要検討
 - 基本的に、会場責任者が適宜デスク付近を巡回することが望ましい（学生のみで対応が難しい事項もありうる）
- ・設置場所の検討および準備物の確認
 - 大学体育館については、ホーム大学のスタッフに確認し、「どの場所に設置することが可能か」を確認する必要がある。また、机、椅子、ホワイトボード等が借用可能か確認する必要がある（立命館大 佐藤監督、大阪経済大 明石監督、武庫川大 佐久川コーチ）
 - 公共施設会場についても、大学体育館と同様の確認をしておく必要がある
- ・公共の体育館における設置場所の検討およびプログラム販売の可否
 - 要確認
- ・協賛企業のチラシの設置
 - 要検討